

## 研究課題

### 小児悪性固形腫瘍における CD99 発現の検索

#### 研究の目的

CD99 は、免疫、炎症、がんの転移に関わる細胞表面分子で、小児に好発するユーイング肉腫では発現亢進が見られます。一方、CAR 療法は、腫瘍を認識する人工的受容体であるキメラ抗原受容体（Chimeric Antigen Receptor : CAR）を T リンパ球等の免疫細胞に発現させ腫瘍を攻撃させる免疫療法で、様々な腫瘍を標的とする CAR の開発が世界中で行われており、東京医科大学分子病理学分野では、ユーイング肉腫を標的として、CD99 に対する CAR の研究開発を行っています。

しかしながら、文献的には、CD99 はユーイング肉腫以外の腫瘍においても発現が報告されています。

そこで、小児悪性腫瘍全体という観点から、CD99 を標的とするがん免疫療法が、どの程度の割合の症例に効果がある可能性があるのか、当小児医療センターの病理診断に提出され診断された過去の悪性腫瘍症例を使用して、CD99 の発現を検索したいと考えています。

#### 1. 研究の方法

##### (1) 研究対象者・対象となる期間

2014 年 4 月～2019 年 3 月までに当院の病理診断検査にて悪性腫瘍と診断された患者さん

##### (2) 匿名化の方法

症例ごとに管理 ID を付し、患者氏名を伏せた状態で本研究を実施します

##### (3) 研究の方法

病理診断のために作成された標本の残余の一部を使用して、東京医科大学分子病理学分野にて CD99 の発現の検索を実施致します。

#### 2. 研究期間

倫理委員会承認後 ～ 1 年間

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断のために採取された病変組織の残余の一部を利用致します。また、研究の実施にあたって以下のカルテ情報を利用致しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

- 性別
- 病変組織の採取日および採取した際の年齢
- 病変組織を採取した部位
- 治療の種類と効果

4. 外部への試料・情報の提供、研究成果の公表

研究成果を学会や学術雑誌で発表する可能性があります。患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

5. 研究組織

研究実施者

病理診断科 兼

東京医科大学分子病理学分野 講師 渡辺 紀子

研究責任者

臨床研究部 部長 中澤 温子

6. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2019年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）